



2023年11月9日

各位

会社名：アコム株式会社
 代表者名：代表取締役社長 木下 政孝
 (コード番号：8572 東証スタンダード)
 問合せ先：広報・IR室長 岡本 貴史
 電話番号：03-6865-6474

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年5月11日に公表しました2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の業績予想について、下記のとおり、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結

(単位：百万円、%)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	284,300	90,400	90,600	57,900	36.96
今回修正予想(B)	293,100	84,500	84,800	52,900	33.77
増減額(B-A)	8,800	△5,900	△5,800	△5,000	
増減率(%)	3.1	△6.5	△6.4	△8.6	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	273,793	87,287	87,485	54,926	35.06

(2) 個別

(単位：百万円、%)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	210,600	67,000	72,700	51,400	32.81
今回修正予想(B)	214,600	58,500	64,600	45,800	29.24
増減額(B-A)	4,000	△8,500	△8,100	△5,600	
増減率(%)	1.9	△12.7	△11.1	△10.9	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	200,679	62,826	70,417	48,985	31.27

アコム株式会社

2. 修正の背景

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行や各種政策を背景に社会経済活動の正常化が進み、景気も緩やかに回復しています。

当社においては、新客数は第2四半期計画を大きく上回り、広告宣伝の効率も改善傾向に向かっています。さらに、既存のお客さまの追加利用も好調に推移した結果、営業債権残高は計画を上回って推移しています。

このような状況を踏まえ、将来の業績向上に貢献すべく、引き続き、戦略的に広告宣伝費を投下してまいります。一方で、営業債権残高の増加等により貸倒関連費用が増加する見通しとなったため、業績予想を修正することとしました。

3. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正について

営業収益は、営業貸付金利息や信用保証収益の増加を主因に1,442億円(前回の第2四半期予想比42億円増)となる見込みです。加えて、第2四半期までの状況を踏まえて通期の営業収益を見直した結果、営業収益は2,931億円(前回の通期予想比88億円増)となる見通しです。

営業費用は、貸倒関連費用や広告宣伝費の増加を主因に1,000億円(前回の第2四半期予想比56億円増)となる見込みです。貸倒関連費用については業容拡大に加えて、ローン事業の新客数増加などにより貸倒損失額および貸倒引当金が増加、広告宣伝費についてはインターネット経由の新客数増加により増加する見込みです。加えて、第2四半期までの状況を踏まえて通期の営業費用を見直した結果、営業費用は2,086億円(前回の通期予想比147億円増)となる見通しです。

以上の結果、営業利益は845億円(前回の通期予想比59億円減)、経常利益は848億円(前回の通期予想比58億円減)、親会社株主に帰属する当期純利益は529億円(前回の通期予想比50億円減)となる見通しです。

(2) 個別業績予想の修正について

営業収益は、営業貸付金利息や信用保証収益の増加を主因に1,056億円(前回の第2四半期予想比15億円増)となる見込みです。加えて、第2四半期までの状況を踏まえて通期の営業収益を見直した結果、営業収益は2,146億円(前回の通期予想比40億円増)となる見通しです。

営業費用は、貸倒関連費用や広告宣伝費の増加を主因に759億円(前回の第2四半期予想比55億円増)となる見込みです。貸倒関連費用については業容拡大に加えて、ローン事業の新客数増加などにより貸倒損失額および貸倒引当金が増加、広告宣伝費についてはインターネット経由の新客数増加により増加する見込みです。加えて、第2四半期までの状況を踏まえて通期の営業費用を見直した結果、営業費用は1,561億円(前回の通期予想比125億円増)となる見通しです。

以上の結果、営業利益は585億円(前回の通期予想比85億円減)、経常利益は646億円(前回の通期予想比81億円減)、親会社株主に帰属する当期純利益は458億円(前回の通期予想比56億円減)となる見通しです。

※業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上

アコム株式会社